



本誌は環境にやさしい
植物油インキを使用しています。

建築業法における株式会社 日立産機システムの有する許可
○平成22年7月19日国土交通大臣許可(第22)第004603号
建築工事業、機械器具設置工事業、電気通信工事業、消防施設工事業
○平成22年7月19日国土交通大臣許可(特22)第004603号
電気工事業



地球の絶景 | vol.5

Antarctic Adélie Land

写真:日経ナショナル ジオグラフィック社発行「絶景×絶景」より

南極 アデリーランド

冰山。それは、やがて消えゆく神の彫刻

南極の海には、大小さまざまな冰山が浮かぶ。その誕生のメカニズムはこうだ。南極大陸に降り積もった雪が氷となり、氷は自らの重みに押されて内陸部から外側へと移動する。押された氷は徐々に陸からせり出し、やがて海へと流れ出ていく。雪を起源とする氷山の氷は、純度の高い真水でできている。この純水の密度は気泡を含むと910kg/m³程度、海水の密度を1,028kg/m³とすると、全体積の11%のみが海面上に浮かぶ計算になる。目の当たりにできるのはまさに「冰山の一角」だ。

氷山の色は絶妙だ。古い水ほど深い青を宿し、水面下に透けて見える微妙な色合いも神秘的だ。海流や潮流に乗って海洋を漂流しつつ、崩壊や融解、波や風などによって形は変化する。その造形のバリエーションは実に豊かで、我々の想像をはるかに超える。



アデリーランド | 南極

写真は南極大陸の東部(東南極)に位置するアデリーランドの海上に浮かんだ冰山。氷でできたハリネズミのようでもあり、繊細なガラス切り子のようでもある。ダイナミックな自然の営みによって創られ、消えていく芸術を、この地に暮らすペンギンたちは毎日のように楽しんでるだろうか。